

ひくまの : 浜松医科大学附属図書館報. No. 71

メタデータ	言語: jpn 出版者: 浜松医科大学附属図書館 公開日: 2021-03-11 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 浜松医科大学附属図書館 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10271/00003802



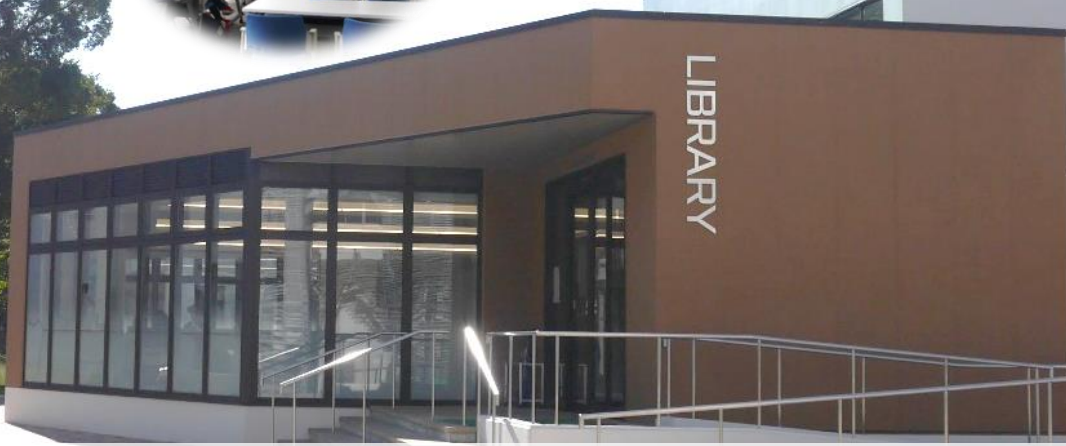
ひくまの

Hamamatsu University School of Medicine Library Bulletin "Hikumano" No.71 Mar, 2021

附属図書館は2020年8月に施設改修・増築が完了し、全面開館しました！
今回は、リニューアルした図書館の魅力を紹介します！！



浜松医科大学附属図書館 リニューアルオープン！ ～スマート・ライブラリ～



スマート・ライブラリ

本館は、医学図書館として医学書を中心とした収集を行うとともに、スマート・ライブラリ構想に基づき従来型図書館からSociety 5.0型への転換を図り、次の点に力を入れています。

電子資料・教材の提供や
E-learning contentsの
作成支援・供給

双方向対話学修及び
国際感覚・コミュニケーション
能力向上の支援

個人及びグループ学修の
深化のための多様な空間
並びに自在に利用できる
ICT機器の整備

学生の学修環境の向上を命題とし、多様な学修スペース、情報・コミュニケーション機器、電子書籍などを備えた新たな時代の図書館「スマート・ライブラリ」として、知識集約型社会への急速なパラダイムシフトに柔軟に対応できる施設を目指しています。

図書館は知のふるさとに再びなれるのか

梶村 春彦

浜松医科大学附属図書館長 腫瘍病理学講座 教授



ちょうど我々の世代は、親が戦中派、自分は高度成長下に学校生活を送ったという年回りである。戦前、主たる働き手の突然の死などは、よくある話であり、そのせいであるいはそれ以外の理由でも貧しくて上の学校に行けなかったなどという経験を“昔は”ざらにあったなどという言い方でよく聞いた。先日、あしなが育英会の報道をテレビでみていたら、現在でもそのようなことがおこりつつあるということで、ゆゆしき事態であると思う。大戦直後は日本人全体が振り出しに戻ったような状況下で、みな楽天的であったせいかも知れないが、経済的事情で上級の学校に行けない若者に、とりあえず職を紹介してくれるシステム（というよりは慣習）があったという。その職のなかには、学校の事務や図書館といったものもあり、文化果つるところなどと言われる土地でも旧制高校には図書館があり、カウンターで事務などをする働き口などを紹介してくれたという。今のように、transactionがわからないとか、copyを外注したいというようなめんどくさい要請もないわけだから、新しく送られて

くる、紙の質が悪くても自分では買えないような雑誌や本を、カウンターの中で読んで時間をつぶせるのだから、もちろん、高給ではないにしてもそれなりにのんびりした仕事だったかも知れない。利用者だって、授業のある時間は、浪人中の旧制高校生くらいで（そもそも昔はあまり浪人しなかったはずである）、彼らが質素な勉強部屋として使うくらいしかないのである。それにしても、我々の図書館では現在、職員や在学中の学生以外が勉強する場所を使用するといったことについても、申し合わせ事項など規則を具体的に改正して可能にするという手続きをとっている。紛争の頃東大の病理学教室を主宰されていた太田邦夫教授（本学の初代喜納勇教授の師匠）は民主主義とは手続きであると言っておられたそうだが、たしかにと頷くことのできる年になった。

さて、前任の浦野教授や、伊原課長をはじめとする関係者の努力ででき上がった新図書館を見ると親の世代どころか私自身の学生時代の図書館(4階建!)と比べても隔世の感がある。もう一度、明日は

必ず今よりはよくなると言った心境でやれるだろうか。国際交流部門も直結しており、コンテンツに関して背伸びしてでも少数精鋭の学問、研究、innovationの拠点になってもらいたい。“ひくまの”もカラーで写真も多く大変に豊かなものであり、先代の教授たちが図書館の役割について格調高く語っている記事もある。彼らにしてみてもこの図書館の外観は喜ばしい驚きであり、再び創設期のような転機が巡って来ている現状を注視していることと思う。

ところで、“ひくまの”はいかにも地元浜松の思いのこもった誌名で、心待ちにしている各部署のOB/OGもあろう。是非新図書館を見に来ていただきたいものである。昔も図書館報/同窓会報はあったようで、簡素な冊子には、いかにも南国の旧制高校生が好みそうな“南冥”(莊子逍遥編の最初に出てくる鳳がめざす南海の天池)という名がついていた。名付けた人々の志が現れているようにも見える。その“南冥”は図書館の元(臨時)職員だった母と同窓生である父宛に我が家には2部届いていた。

スタジオ ～スマート・ライブラリ施設紹介～

動画の撮影や編集ができる施設が新設されました。デジタル教材や課外活動のPR動画作成等、気軽にご活用ください！（利用には予約が必要です）

予約はこちらから→



・ モニター
カメラの映像やPC画面を切り替えて確認しながら、撮影ができます。



・ PC (Windows, Mac 各1台)
・ キーボード、マウス
持ち運べるので、モニターを見ながらのPC操作もできます。
・ 動画編集ソフト
Adobe Premiere Elements 2020
・ ポータブルHDD・SSD各1台

・ ビデオカメラ
・ webカメラ（館外利用可）
・ スタンドライト2台（館外利用可）
・ バックスクリーン
（浜医大柄、白無地の2種類）
明るさや背景を変えて撮影ができます。



・ デジタルカメラ、三脚、ステレオガン
マイクロフォン（館外利用可）
スタジオの外でも撮影ができます。



学生からの寄稿



追憶

医学部医学科 5年 鈴木 海渡

今の図書館には全く思い出がありません。4年生の6月に改修のため図書館が閉館し、5年生の8月に新生図書館が全面開館しました。旧図書館には数々のテストを乗り越えた日々が詰まっていた。諦観の中で夜の駐車場を何度も後にしました。臨床実習で図書館から距離のあるこの頃でしたが、先日久しぶりに日の落ちた図書館を訪れました。綺麗になった館内にはあの頃の面影はありません。「あの辺、ラーニングコモンズだったよな」そんなことを思いつつ用を済ませた帰り道、ハンドルを切って坂を曲がりながら、同じようにこの坂を下った夜々をふと思い出しました。来年度は国家試験。新たな図書館に幾多の夜を残すことになりそうです。

オープンアクセスポリシーを策定

本学では、本学教職員による教育・研究・診療の成果物を広く公開することにより、学術研究の進展に寄与し、人類社会に貢献することを目的として「浜松医科大学オープンアクセスポリシー」を策定しました。

ポリシーをもとに、令和2年度から、教員業績管理システムに登録された論文の機関リポジトリを用いた公開を進めています。

本学教職員・大学院生は、令和2年度以前出版の論文でも申し出があれば掲載いたします。掲載していただける論文をお持ちの方は、学術情報課目録情報係までご連絡ください。(著作権等の理由により掲載できない場合もありますのでご了承ください)

*オープンアクセスポリシーの全文は浜松医科大学学術機関リポジトリからご確認ください。

URL : <https://hama-med.repo.nii.ac.jp/>

動画を公開しました！

浜松医科大学オンデマンドにて附属図書館のチャンネルが公開されました。順次動画をアップしていきますので、ぜひチェックしてください。



・附属図書館施設紹介

新しくなった図書館の施設を紹介しています。お気に入りの場所を見つけてみてください。



・図書館の利用シリーズ①

自動貸出返却装置の利用

図書館の基本的な利用方法について学べる動画です。今後も図書館の利用方法に関する動画をシリーズとして追加していく予定です。

浜松医科大学オンデマンド Ch.7 附属図書館

URL : <http://od.hama-med.ac.jp/channel/8>

令和3年度 浜松医科大学附属図書館開館予定表

*開館時間に変更となる場合がありますので、最新情報は図書館HPでご確認ください

4月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

5月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

6月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

7月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

8月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

9月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

10月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

11月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

12月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

1月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

2月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28					

3月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

□ : 平日 9:00-20:00 □ : 土・日曜日 10:00-17:00 □ : 夏季休業期 9:00-17:00 □ : 休館日